

令和5年 菊川市の主な出来事

順位	出来事	内容		票数
1	生まれ変わる菊川駅の工事がスタート【3月】	JR菊川駅の南北自由通路整備の第1段階として、令和5年3月に現在の駅舎西側に仮駅舎を建設するための工事がスタートしました。令和5年12月下旬から令和7年度末の新駅舎の利用開始まで仮駅舎を利用いただくこととなります。		237
2	常葉大学附属菊川高校野球部が春のセンバツ出場【3月】	常葉大菊川高校野球部が第95回記念選抜高校野球大会に出場しました。センバツへの出場は、10年ぶり5回目。3月22日に千葉県の特大大松戸と対戦しました。初回到3点を失うも、その後は堅実な守備で試合運びました。あと一歩及ばず、惜しくも敗れましたが、甲子園球場という大舞台で全力のプレーを見せてくれました。		222
3	さわやか菊川本店リニューアルオープン【7月】	46年前に菊川市で1号店が開店した日と同じ7月5日、さわやか菊川本店がリニューアルオープンしました。市内や県内だけでなく、関西や北関東などからも集まった大勢の人が見守る中、華々しくテープカットで開店しました。きくのんによるお出迎えや深蒸し菊川茶ペットボトルのプレゼントなどもあり、地域と一体となったセレモニーが行われました。		206
4	常葉大学附属菊川高校の鈴木叶捕手がドラフト指名【10月】	2023年プロ野球ドラフト会議で、常葉大学附属菊川高校3年の鈴木叶（きょう）捕手が東京ヤクルトスワローズから4位指名を受けました。鈴木捕手は、「神宮のファンに愛される存在になりたいです。ヤクルトにはいい選手が大勢いるので、良いところをたくさん吸収して自分のものにしていきたいです」と抱負を語りました。プロの世界で活躍する姿が今から楽しみです。		173
5	『深蒸し菊川茶』が地理的表示（GI）保護制度登録【3月】	3月31日、『深蒸し菊川茶』が農林水産省から「地理的表示（GI）保護制度」の認定登録を受けました。 静岡県内では「三島馬鈴薯」「田子の浦しらす」「西浦みかん寿太郎」に続き4件目の登録となり、お茶の登録は県内初。認定登録を大きな契機と捉え『深蒸し菊川茶』が国内外に広く認知されるよう、ブランド力を高めるとともに、更なる販路拡大や消費拡大に取り組んでいます。		169

令和5年 菊川市の主な出来事

順位	出来事	内容		票数
6	4年ぶりの歓喜の掛け声！市内各地で秋の祭典開催【10月】	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続いてきた秋の祭典。今年はいくつかの自治会が4年ぶりに例年通り開催しました。小笠地域では10月7日と8日、菊川地域では10月14日と15日、牧之原地域では10月28日と29日に開催。市内のあちこちで、子どもから大人までが一緒になり、お囃子と威勢の良い掛け声とともに、花飾りやちょうちんなどで飾られた屋台を引き回し、町内安全や五穀豊穡を祈願しました。		158
7	わかものまちなみサミット2023が菊川市で開催！「菊川市子ども・わかもの参画宣言」発表【11月】	11月19日、NPO法人わかものまちなみと市民協働センターが協働で「わかものまちなみサミット2023」が開催されました。全国で子ども若者の支援に携わっている団体や行政、当事者である学生など200人以上が参加。全体会や分科会を通して、若者の主体的な活動や、若者支援について活発な意見交換が行われました。また、サミットのクロージングセッションにおいて、子どもや若者のまちづくりへの参画などについて、地域・NPO・学校・企業・行政等が協働しながら、市全体で取り組んでいく姿勢を明確にするため、全国初となる「菊川市子ども・わかもの参画宣言」を行いました。		141
8	菊川市が「街の幸福度ランキング（静岡県版）」第3位にランクイン【11月】	大東建託株式会社が発表した「いい部屋ネット 街の幸福度＆住み続けたい街ランキング2023（静岡県版）」において、菊川市が「街の幸福度ランキング」第3位に選ばれました。これからは「住んでよかった、住み続けたい」と思われるまちづくりを皆さんとともに進めていきます。		128
9	小笠高校生が考えた市内農産物を使った新メニューが商品化、学校給食でも提供【2月】	小笠高校生が試作を繰り返して考案した新商品レシピをプロが商品化。「菊川トルティーヤ（お茶を練りこんだトルティーヤ）」が「うでまくりDINING喜楽人（西方）」で、「芽チキヤツ（メキャベツのメンチカツ）」が「食事処 8ct -yakara-t（本所）」で販売されました。また、市の特産品である芽キャベツを使用した「コロコロホイコーロー」や「たれ芽チキヤツ」が、市内小中学校や幼稚園などに学校給食として提供されました。		123
10	菊川市がジュピロ磐田のホームタウンに【5月】	Jリーグのジュピロ磐田からお声掛けをいただき、県西部6市1町がホームタウンへ加入。これまでも開催してきた子どもたちとの交流イベント等に加え、公式戦への市民招待の拡大など、スポーツを通じたまちづくりにジュピロ磐田と一緒に取り組むこととなりました。		101